

音二郎没後100年・貞奴生誕140年記念

川上音二郎・貞奴展

Otojiro Kawakami and SadaYakko: Special Exhibition, 2011

2011年9月10日(土)～11月27日(日)

会場：茅ヶ崎市美術館

観覧料：一般500円(300円)

大学生300円(250円)

※高校生以下、市内在住65歳以上の方・障害者およびその介護者は無料(1日1名以上1団体1行)

開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日：9/12(月)・20(火)・21(水)・26(月)・27(火)
10/3(日)・11(火)・12(水)・17(日)・24(月)・31(日)
11/4(金)・7(月)・14(日)・21(月)・24(木)

主催：財団法人茅ヶ崎市文化振興財団
共催：川上音二郎没後100年・川上貞奴生誕140年記念事業実行委員会
協賛：芸術文化振興基金
公益財団法人 在日芸術・科学財団
公益財団法人 資料財団
協賛：在日フランス大使館・茅ヶ崎市教育委員会
協賛：ANA・ちがさき文化こどもたち発見博物館



『METROPOLITAN MAGAZINE』1990年より
・複製：1900年発行、EDGARD LULLYER, No.124

茅ヶ崎市美術館
CHIGASAKI CITY MUSEUM OF ART

〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1-4-45
TEL 0467-88-1177 FAX 0467-88-1201
http://www.chigasaki-arts.jp/museum/
※ 芸術庁・茅ヶ崎市等により、開館時間を変更する場合があります。事前に確認ください。

音二郎没後100年・貞奴生誕140年記念 川上音二郎・貞奴展 (主催：財団法人茅ヶ崎市文化振興財団)

事業報告

本年度の事業としては、発起人の一員として、会をあげて茅ヶ崎市美術館で行われた川上音二郎・貞奴展の周辺イベントの企画運営・広報を、湘南邸園文化祭と絡めて行いました。その他事業としては、茅ヶ崎市との協働事業である、歴史ある建築物の調査結果の発表を行いました。

<湘南邸園文化祭 2011 茅ヶ崎会場 その1>

貞奴とその時代の自転車展—明治・大正・昭和—

9月23日(金・祝)～10月2日(日)

明治35年に欧米での興行から帰国したのち、茅ヶ崎に住んでいた川上貞奴は舶来物の自転車に乗っていました。当時の自転車は高級品で、ましてや女性が乗っていたことは珍しく、さぞかしモダンであったでしょう。素材やデザインなど興味深い物ばかり、約10台の貴重な車両と写真・ポスター・パネル展示しました。



私の音二郎・貞奴神田紅講演会

9月23日(金・祝)～10月2日(日)

講師である神田紅さんは、長年にわたり川上音二郎と貞奴の研究をされながら「マダム貞奴」という演目を持ちネタとして有名です。茅ヶ崎館は音二郎・貞奴が明治36年に「オセロ」の本読み稽古をしていた場所であるため、神田紅さんの視点から二人のエピソードなどを講演してもらいました。



<湘南邸園文化祭 2011 茅ヶ崎会場 その2>

登録有形文化財茅ヶ崎館で活弁映画上映会 小津安二郎監督作品「出来ごころ」

12月11日(日)

小津安二郎監督の名作が数多く執筆された茅ヶ崎館で、映画『出来ごころ』を活動弁士の佐々木亜希子さんに活弁頂きました。昭和8年公開の本作は、茅ヶ崎市在住であった池田忠雄氏が脚色されたゆかりの作品で、懐かしい人情喜劇です。



音二郎・貞奴を語る

トークライブ — 長谷川法世、ピーターパンツアー、小川稔、他 —

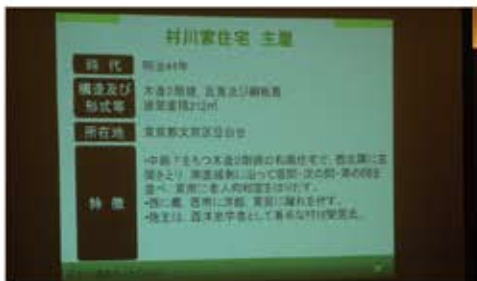
11月12日(日)

明治32年、日本を飛び出して波乱万丈の巡業へ。アメリカからヨーロッパへ渡り明治33年(1900年)のパリ万国博覧会で川上座は公演を成功させます。同35年から川上音二郎と貞奴は茅ヶ崎の住民となりました。帰国してからは、茅ヶ崎を住まいとしただけでなく、劇場や演劇学校を作り、日本での演劇活動の拠点にしようと考えたのです。奇跡の夫婦と呼ぶべき二人を、長年研究されているゲスト講演者が熱く語り合いました。



文化景観セミナーの開催

茅ヶ崎の歴史ある建造物の保存と活用の仕組みの構築を目指し、「茅ヶ崎の文化景観を育む会」と茅ヶ崎市は2008年度より協働推進事業を実施しており、今年度は歴史ある建造物の保存、活用への理解を深めるため、市民や建造物の所有者の方を対象として、「歴史ある建造物の保存と活用」をテーマとしたセミナーを企画しました。8月7日(日)には、調査を行った東海大学教授・小沢朝江氏、関東学院大学教授・水沼淑子氏に報告会を行って頂きました。



茅ヶ崎の文化景観を育む会「友の会」・入会ご案内

茅ヶ崎は明治以降東海道線の開通や海水浴の流行等を背景に東京近郊の保養地、別荘地として発展してきました。今日では、茅ヶ崎は東京・横浜からの通勤圏にあり、その温暖な気候と海・里山等の豊かな自然環境や文化的イメージから居住を望む人が多くなりました。しかし、古くからの土地は宅地開発され、保養地・別荘地としての茅ヶ崎の原風景が失われつつある状況にあります。我々は、未だまことに点在する別荘建築・文化遺産をとおして茅ヶ崎の原風景を少しでも生き残らせ、快適な都市環境を形成し、茅ヶ崎市民がシティーライフを楽しめる魅力あるまちづくりを目指しています。具体的活動としては、茅ヶ崎の歴史的、文化的価値があると認められる建造物や場所に対し、それらが地域の文化や環境に与える影響などを考察、検証し、その活性化と保存方法とそれらの建造物や場所の所有者への相談システムの構築などを研究、実践していきます。この度、「茅ヶ崎の文化景観を育む会」では、このような活動に興味があり、ご賛同いただける個人会員を募集いたします。

◆ ご入会についてのお問い合わせは事務局までお願いいたします。

「茅ヶ崎の文化景観を育む会」事務局 (担当: 森・和泉)
〒253-0055 茅ヶ崎市中海岸3-8-5
TEL・FAX: 0467-98-1630
e-mail: info@chigasakikan.co.jp

発行: 茅ヶ崎市
連絡先: 茅ヶ崎の文化景観を育む会事務局
TEL・FAX: 0467-98-1630
E-MAIL: info@chi-bunkei.net
HP: http://www.chi-bunkei.net/